

受入先	NPO 法人 頼娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 6 年 2 月（着任 0 年 8 カ月目）
主な活動	1 焼酎ツーリズムへの参加及び視察 2 グリーンツーリズムへの参加及び視察

1. 焼酎ツーリズムへの参加及び視察

いちき串木野市と日置市で開催された焼酎ツーリズム 2014 に参加しました。

全くお酒が飲めませんが、参加者はどのようなことを楽しみにしているか、また、酒蔵間の移動手段をどのように確保し参加者の満足につなげているか、などを知るためです。

飲み放題ツアーではない、とのコンセプトを申込時に明確にしていたためか、参加者が焼酎蔵の見学及び蔵元からの説明に時折鋭い質問をするなど、焼酎について学ぶという意識を感じました。また、見学する機会があまりない焼酎蔵が多く、焼酎の特徴やこだわりを作り手から直接聞けるいい機会でした。

焼酎蔵同士が近接した場所にあれば、歩くことができますが、離れている焼酎蔵に行く場合の移動手段をどのように確保しているか興味がありました。

伊集院駅を発着し、西酒造を經由し小正醸造まで循環するバスと、市来駅を発着し、いくつかの酒造所を經由し、小正醸造まで循環するバスの 2 系統を仕立てたこと、また、同醸造を 2 系統の結節点として、乗り換えや見学をスムーズにしたところに、運営サイドの苦心を感じながらも、系統と時間設定の上手さを感じました。

酒造所の方々をはじめ、ボランティアを含めた多くの方々のおかげで、焼酎や地域に対する学びを深めながら参加できました。



2. グリーンツーリズムへの参加及び視察

NPO 法人グリーンツーリズムとやまが主催する五箇山(ごかやま)でのグリーンツーリズムに参加するため、富山県南砺市の合掌造りがある菅沼集落に行きました。

40年ほど前までの冬期期間中は、降雪のため道が閉ざされていたというだけあって、雪深い場所でした。世界遺産(文化遺産)に登録されていることは知っていましたが、合掌造りの家々が残る集落であり、およそ400年暮らしが続いていることで登録されていること、暮らしが無くなると登録が取り消されることを聞きました。

鉄砲に使う硝薬を作っていたために1階は木をつなぎ合わせる組木工法、2階からは丸太に縄を結わえて、茅葺き屋根や家の柱たちを固定する合掌造りとなっており、異なる工法で作られていることを知りました。

雪深い地での移動に欠かせないのが、かんじき。驚くほど簡単な作りですが、不思議と雪の上をスムーズに歩けました。今年は極めて雪が少ないこともあって、膝まで埋まりながら歩く経験ができなかったのは残念でしたが、同じ日の午後に雪で糖度が増した野菜(赤かぶ)を雪の中から収穫する体験で、膝まで雪に埋まりながら歩いたときに、かんじきを作った先人の知恵に感服しました。

野菜収穫体験は、畑までの道も雪かきしながら植えている場所(目印はありません)を見つけて収穫するという、宝探しの要素を感じました。収穫した大小さまざまな赤かぶ達を見ていると、農家の方々が大切に育てた思いが伝わってきました。

それぞれの場所で育まれてきた生活の知恵があり、それを活かしながら今の暮らしにつなげていく大切さ、実際の暮らしを体験してみないと分からないことが多くある。

気候や風土は異なることはあっても、根底となっている要素は同じではないか、と感じます。その土地では何気ない暮らしかもしれませんが、他の場所から来た人にとっては新たな発見、ということがあります。他箇所での取り組みを学んだうえで、自分たちの地域で活かせることは何かを考えながら取り組んでいきたいと思っています。

